

広島大学

令和 7 年度一般選抜(前期日程)・
総合型選抜外国人留学生型 2 月実施

解答例又は出題の意図等

科目名：

数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学 A，数学 B，
数学 C

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

出題の意図

科目名：数学 I, 数学 II, 数学 III, 数学 A, 数学 B, 数学 C

- 〔1〕 数学 III の「微分法」と「積分法」を題材とした総合問題である。特に、微分と積分に関する確実な計算が行えるかが問われている。また、回転体の体積を理解しているかが問われている。
- 〔2〕 数学 II の「図形と方程式」と数学 B の「数列」の隣接二項間漸化式を題材にした融合問題である。漸化式の導出、ならびに得られた隣接二項間漸化式が解けるかが問われている。最後は、数学 II の「指数関数・対数関数」、特に常用対数の応用について理解しているかが問われている。
- 〔3〕 数学 II の「三角関数」と数学 III の「極限」を題材とした融合問題である。特に、三角関数の様々な公式、極限や関数の連続性についての理解が問われている。
- 〔4〕 数学 A の「場合の数と確率」を題材とした問題である。特に条件付き確率（原因の確率）についての理解が問われている。最後は、数学 III の「積分法」を題材に、区分求積法について理解しているかが問われている。
- 〔5〕 数学 C の「平面上の曲線と複素数平面」と数学 B の「数列」の隣接二項間漸化式を題材とした融合問題である。〔2〕と異なる隣接二項間漸化式に対して、一般項を求めることができるかが問われている。さらに、ド・モアブルの定理が正確に利用できるかが問われている。